

2月から新しい看護師さんが着任しました!

2月1日から4ヶ月間、朝日診療所で勤務していただく会津中央病院看護師の加藤晴香さんです。加藤さんは、身近な存在である親戚などが看護師をしており、その姿を見て自分も看護師を目指したそうです。会津中央病院では、一般病棟と救命病棟を経験し、只見町へやってきました。加藤さんの趣味は音楽鑑賞で、休日にはよく友達とライブを見にいくそうで、只見町ではスノーボードなどにも挑戦したいそうです。診療所では「短い期間ですが頑張ります!」と話す加藤さんをどうぞよろしくお願ひいたします。



加藤 晴香さん
(出身/会津若松市)

広報ただみ診療所

朝日診療所
医師 渡邊 孝一郎



「退任のご挨拶」

皆さんこんにちは。今季の寒さや雪の多さは昨年・一昨年よりも一層身にしみますね。インフルエンザは「A型」も「B型」も出ていますのでご注意ください。今回は私の退任のご挨拶をさせていただきます。

早いもので只見に来てから丸2年となりました。2年の間には本当に色々な出来事がありました。私事では結婚をしたり、認定内科医の試験に合格したり、雪まつりも体験させていただきました。

同僚の先生方のご指導のもと、たくさんの経験もさせていただきました。また退院調整にあたっては、患者さんご家族の方々や看護師さん、ケア

マネジャーの皆さん、各種施設の方々とたくさんの相談をさせていただきました。本当にありがとうございました。深く感謝しております。

4月からは福島県立医科大学附属病院に所属しながら、各関連施設で循環器内科の勉強をさせて頂く予定です。どこかでお会いしましたら声をかけてくださいね。

最後になりますが、重ねまして本当にお世話になりました。少しでもお役に立てたなら幸いです。今後とも精進していきたいと思ひます。皆さまのご多幸を心からお祈りしています。ありがとうございました。

地域おこし協力隊として vol.40

只見町観光振興協力隊

やましな まい
山科 麻伊



「能動的に楽しむ只見らしさ」

2回目の只見の冬、今年は去年以上の降雪となったものの、私にも「冬はそういうものだ」というようなマインドができつつあり、あまり動じなくなってきました。

昨年は「只見町女将の会」の立ち上げへの関わりを通して、現場の姿を学ばせて頂きました。今年も、女将さん方の思いを汲み、お力になりたいというように感じています。また、協力隊の目線で、「只見の観光の魅力で、一番の強みになるものは何だろう?」と考えてみました。只見は従来型観光地とは

違い、「受け身で楽しむ」より「能動的に楽しむ」ことのできる土地です。今の時代は既に決められた楽しみ方を個々の意思によって選択さえすればよく、「考えなくても楽しめる」ものばかりです。工夫し、創造しようという精神が失われつつあります。

町の方々が長い間、遊びは能動的で、創造的なものであると認識し、受け継がれてきたものを求めている層は必ずいると思ひます。外国人旅行客も観光客のターゲットとして重要になってきた今、最後の1年はそういう「只見らしさ」を売りに何かできることを行っていきたいと思ひます。